

《4月27日(金) カープナイター 17:57~21:00》

追悼特別番組 ありがとう！鉄人・衣笠祥雄さん

## さようなら鉄人・ありがとう衣笠祥雄さん

2018年4月23日に亡くなられた衣笠祥雄さん(野球評論家)を偲んで、「RCCカープナイター追悼特別番組 ありがとう！鉄人・衣笠祥雄さん」を4月27日(17:57~20:00)放送しました。

番組では親交の深かった安仁屋宗八さんと長谷川努アナウンサーを中心に衣笠さんとゆかりのある方々に出演いただき、引退記者会見、連続試合出場記録、初優勝、1986年優勝実況など、RCCにアーカイブされた音声とともに偉大な足跡を振り返りました。衣笠さんの肉声で、入団当時ついていくのが精一杯だった初めてのキャンプの話や、初優勝当時のエピソードを聞いた「衣笠祥雄に聞く、赤ヘル1975の軌跡」も放送しました。また、20:00~21:00は衣笠さんがパーソナリティを務めた音楽番組「鉄人ミュージック」(TBSラジオ制作：2017年5月4日)を放送しました。10年続いた鉄人ミュージックは、R & Bやカントリー、ジャズなどアメリカ音楽に造詣の深かった衣笠さんの野球愛と音楽愛が詰まった番組でした。

改めて、衣笠祥雄さんの野球への深い愛情と、お人柄が偲ばれる番組になりました。



■阿南準郎氏(元広島東洋カープ選手・監督)  
鉄人という言葉が一番ふさわしい。強靱な精神の持ち主。野球に取り組む姿勢が一際違った。山本浩二とともにカープを引っ張ってくれた。

■山本浩二氏(元広島東洋カープ選手・監督)  
良きライバル。優勝をきっかけに胸の内を開いて話ができるようになった。キヌの全力でプレイする姿勢が自分のプラスになった。86年V5の優勝で、引退することを気遣ってレフトから走ってくる自分を、マウンドで待っていてくれて抱き合ったのを覚えている。何か伝えるとしたら「ご苦労さんとありがとう、キヌがいたからここまで来れた。」と伝えたい。

■古葉竹識(元広島東洋カープ選手・監督)  
亡くなったのを聞いて大泣きした。番組の優勝会見を聞いて涙が出た。残念ではない。監督をやれといったこともある。選手時代は「自分達がやることやろう」と何も言わなくてもやってくれていた。これからも、カープのことを見ていて欲しい。

■二宮清純氏(スポーツジャーナリスト)  
対応が紳士だった。衣笠さんは野球を愛して愛された。フレンドリーで博識がありjazzやブルースの話が大好きだった。フルスイングの初代代名詞。

■上野隆紘氏(元RCCアナウンサー)  
亡くなったことを聞いて思考力をなくした。選手当時は歳を重ねるごとにストイックになって、礼儀正しくなっていた。ユーモアもあって衣笠さんが歌う聖者の行進は上手かった。天国でもフルスイングして欲しい。

